



「平和を求める心を生活にあらわす」

8月9日に実施予定であった平和集会を、今月実施しました。子どもたちには次のように話しました。ご家庭でも話題にしていただけるとありがたいです。



「平和ってなんだろう」この問いに小学生の子どもたちがこのように答えています。「毎日元気に遊ぶことです」「自由に勉強ができることです」「みんなが仲良く暮らせることです」こう考えると「平和」って、日本に住む私たちにとっては、ごく当たり前のことです。

ところが世界に目を向けると、争いごとで命の危険にさらされている方がいます。78年前、戦争の真っ最中だったこの日本だって、みんなが苦しい生活を強いられていました。小学生のみなさんは戦争は知らないし、戦争を止める力ももちません。でも、「平和、のすばらしさは知っています。私たちにも取り組める「平和、それは「平和を求める心」が大事であることを理解すること。そして、「平和を求める心を生活に表すこと」です。この思いがたくさんの人に広がって、やがて、地球上のみんなが平和に暮らせることにつながっていくことを信じたいものです。「平和を求める心があれば、友達と遊ぶときはどんなことに心掛けるでしょう。」「平和を求める心があれば、困っている人を見かけたときに、どんな行動ができるでしょう。」

こうしてみると、私たちの普段の生活の中に、実は「平和」につながる場面がいくつもあります。この中央小学校でも、「平和を求める心」を生活に表すことができる人がたくさん出てくることを、心から願っています。

交通安全子供自転車長崎県大会



夏休み期間中でしたが、8/1(火)、本校から6年生5名が出場しました。結果は県内総合8位。目標には届かなかったとの感想でしたが、6月から汗だくになって特訓に励んだ成果を発揮しようと懸命に頑張りました。

5名の選手の皆さん、そしてご指導いただいた石本様をはじめ、交通安全協会の皆様、ありがとうございました。

宿泊学習(5年生)

9/14~15に、5年生が国立諫早青年自然の家で宿泊学習を行いました。大雨により、沢登りはできなかったものの、豊かな自然環境の中で、焼き板づくりやイニシアティブゲーム、焼きそばづくりに挑戦しました。学校での学びを生かして、ルールをきちんと守り、お互いを思いやりながら、楽しく活動ができました。

